

令和 7年度施策方針書

政 策	03 生きがいを持って暮らせるまちづくり
施 策	02 芸術文化の振興と歴史・伝統文化の継承
主管課	文化振興課
関連課	文化振興課
施策が 目指す姿	市民/芸術文化活動が活発に行われ、歴史や文化財の魅力が共有されている

方針

令和 7年度	・市民が芸術文化に触れ、また、活動の成果を発表する機会として、引き続き、関係団体と連携して文化イベントを開催するとともに、インスタグラムなどのSNSを活用した積極的な情報発信を展開する。 ・文化施設のあり方に関する方針に基づき、文化会館の計画的な改修工事を実施し、市民が利用しやすい施設環境を提供する。 ・貴重な歴史資源を適切に保存・活用していくため、保存・伝承に取り組む団体への支援や、歴史文化の登録制度「焼津遺産」「焼津記憶遺産」を推進する。また、より活用を進めて行くため、花沢城ほかの史跡の魅力をVR等を用いて来訪者に伝える方策を検討するとともに、歴史文化と食などの観光資源との連携、SNS等による広域的な情報発信の活発化などにより、交流人口の増加につなげていく。
--------	---

指標

成果 指標名①	芸術文化活動を実施した市民の割合					単位	%
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
計画			18.7	18.7	18.7	18.7	
実績		18.6	27.1	27.5			
達成率			144.92%	147.06%			
成果 指標名②	文化財を活用した講座やイベントの件数					単位	件
						達成率区分	増加目標
目標値		令和02年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
計画			32	35	38	41	
実績		26	54	55			
達成率			168.75%	157.14%			
成果 指標名③						単位	
						達成率区分	
目標値			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
計画							
実績							
達成率							

事業費内訳

(単位：千円)

		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
事業費	計画	0	0	651,992	735,075	514,184	2,398,252
	実績	0	0	0			
財源内訳	国庫	計画	0	0	10,412	2,282	10,812
	支出金	実績	0	0	0		
	県	計画	0	0	13,319	14,030	1,866
	支出金	実績	0	0	0		
	地方債	計画	0	0	0	0	1,621,637
		実績	0	0	0		
	その他	計画	0	0	190,381	46,722	45,388
		実績	0	0	0		
	一般	計画	0	0	437,880	672,041	456,118
	財源	実績	0	0	0		
人件費	計画	0	0	48,646	40,065	40,065	40,065
	実績	0	0	0			
トータル	計画	0	0	700,638	775,140	554,249	2,438,317
コスト	実績	0	0	0			

令和 5年度評価兼事中（令和 6年度）評価

施策の 振り返り	・市民文化祭及び市民音楽祭ともに、コロナ前の規模に戻して開催し、芸術文化活動の発表と鑑賞の機会を設けた。「文芸やいづ」は高校の授業での取り組みにより、10代からの応募につながっている。 ・「文化施設のあり方に関する方針」に基づき、焼津文化会館の大規模改修工事の実施に向け検討を進めた。 ・国指定重要無形民俗文化財「藤守の田遊び」及び県指定無形民俗文化財「焼津神社獅子木遣り」の保存、伝承、公開の支援を行ったほか、市指定文化財「永豊寺の山門」の茅葺き屋根の葺き替えを支援し、文化財の保存に努めた。 ・市内公民館区ごとに市民と協働した文化財調査体制を整えた。また、文化財専門職員の中長期的な人材の確保に努めた。 ・企画展示や各種講座などを開催し、幅広い年齢層に歴史文化の魅力を発信した。また、他県の歴史とつながる市内の文化財を紹介する広域連携事業を実施したほか、未指定文化財を活用するため「焼津市文化財保存活用地域計画」に基づき「焼津遺産」「焼津記憶遺産」登録制度を制定した。
施策の 課題	・芸術文化に触れるきっかけとして、また、活動の成果を発表する機会として、引き続き、関係団体と連携して文化イベントを開催するとともに、各所においてSNSなどを活用した情報発信を更に積極的に行う必要がある。 ・芸術文化活動の拠点となる施設においては、利用者が安心安全に利用できるよう適正な維持管理、保全に努め、令和7年度からの焼津文化会館大規模改修工事開始が滞りなく行われるよう準備を整える必要がある。 ・登録制度「焼津遺産」「焼津記憶遺産」により、地域資源としての歴史文化を適切に保存、活用していく必要がある。 ・歴史、伝統文化を正しく保存、継承していくため、その活動に取り組む団体を支援するとともに学芸員など専門的な人材を積極的に活用していく必要がある。 ・児童生徒や学生を含む若者に対して貴重な歴史文化の情報発信を進めるとともに、学校との連携を深め文化財を活用した学習機会を広げる必要がある。 ・花沢ビクターセンターなど歴史的建造物や花沢城、石脇城など遺跡、史跡を適正に保存していくとともに、デジタルなどを活用した情報発信をすることで、交流人口の増加につなげていく必要がある。
市民意見	・花沢ビクターセンターを来訪者のおもてなし拠点としてもっと利活用（物販や飲食など）していった方が良い。 ・日本の文化でもある焼津の文化を海外の人にも知ってもらった方が良い。 ・焼津の文化財や焼津の伝統文化をどのように発信したら伝わるかが課題である。